

文芸表現学科 履修モデル

2018年度入学生

		作家・ライター 文芸を発信する仕事へ		編集・出版 文芸を発信する仕事へ		書店員・図書館司書 印刷・広告・WEB・ゲーム・地域・印刷 文芸にまつわる仕事へ		総合職・一般職 はたらきながら書きつづける ことばの力で広く社会へ		キャリア科目							
セメスター		8		7		6		5		4		3		2		1	
4 年次	書くだけで終わらず、読者に伝え、作品を売る。	ポストゼミ 卒業研究・制作	9月 卒業研究・制作提出 10月～12月 リライト・卒業展準備 1月 製本完成 2月 卒業展 ⇒卒業までに作家デビュー、またはライターとして就職・フリーライターへ	ポストゼミ 卒業研究・制作	6月頃 進路決定 9月 卒業研究・制作提出 10月～12月 リライト・卒業展準備 1月 製本完成 2月 卒業展 ⇒大手出版社の就職活動は早く始まります！	ポストゼミ 卒業研究・制作	6月頃 進路決定 9月 卒業研究・制作提出 10月～12月 リライト・卒業展準備 1月 製本完成 2月 卒業展 ⇒司書をめざす人は3年から準備しよう！	ポストゼミ 卒業研究・制作	6月頃 進路決定 9月 卒業研究・制作提出 10月～12月 リライト・卒業展準備 1月 製本完成 2月 卒業展 ⇒ことばを活かす仕事はたくさんあります！								
	卒業後の進路を決め、集大成としての卒業制作を完成させます。卒業展で本として販売し、作品をカタチにして届けるまでを体験します。	創作ゼミで表現する 文芸総合演習Ⅳ(4年ゼミ)	ライタース・セミナーⅣ(作家による講義) ライタース・セミナーⅤ(作家による講義) 美術論Ⅰ(現代思想・哲学) 文芸表現論Ⅵ(放送作家論)	編集ゼミで表現する 文芸総合演習Ⅳ(4年ゼミ)	ビジュアルメディアⅢ(雑誌文化論) ライタース・セミナーⅣ(作家による講義) ライタース・セミナーⅤ(作家による講義) 文芸表現論Ⅶ(小説言語・文化論)	複合ゼミで表現する 文芸総合演習Ⅳ(4年ゼミ)	ビジュアルメディアⅢ(雑誌文化論) ライタース・セミナーⅣ(作家による講義) ライタース・セミナーⅤ(作家による講義) 文芸表現論Ⅶ(小説言語・文化論)	複合ゼミで表現する 文芸総合演習Ⅳ(4年ゼミ)	ライタース・セミナーⅣ(作家による講義) ライタース・セミナーⅤ(作家による講義) 美術論Ⅰ(現代思想・哲学) 文芸表現論Ⅵ(放送作家論)								
3 年次	自分のテーマ(作品)に取り組み、表現力を磨く。	文芸総合演習Ⅲ(3年ゼミ)	表現メソッドⅣ(小説技法) 出版編集論Ⅳ(Web編集とライティング)	文芸総合演習Ⅲ(3年ゼミ)	出版編集論Ⅲ(月刊誌編集講義) 出版編集論Ⅳ(Web編集とライティング) 出版スタジオⅡ(301文庫)	文芸総合演習Ⅲ(3年ゼミ)	舞台と文芸(舞台芸術学科合同) 文芸表現論Ⅷ(20世紀哲学・思想) 出版スタジオⅡ(301文庫)	文芸総合演習Ⅲ(3年ゼミ)	表現メソッドⅣ(小説技法) 文芸表現論Ⅲ(映画理論入門)								
	進路を見据え、それに応じて専門的な学びを深めます。ゼミに所属し、作品執筆・制作に本格的に取り組み、ことばの表現力をさらに磨きます。	文芸総合演習Ⅱ(3年ゼミ)	表現メソッドⅢ(小説技法) 映画と文芸(映画学科合同) ライタース・セミナーⅢ(作家による講義) 文芸表現論Ⅹ(現代ミステリーの世界)	文芸総合演習Ⅱ(3年ゼミ)	ビジュアルメディアⅣ(写真集の歴史と現在) ビジュアルメディアⅤ(製本ワークショップ) 文芸表現論Ⅸ(日本文学入門) 出版スタジオⅠ(301文庫)	文芸総合演習Ⅱ(3年ゼミ)	文芸表現論Ⅵ(放送作家論) 文芸表現論Ⅸ(日本文学入門) 文芸表現論Ⅹ(現代ミステリーの世界) 出版スタジオⅠ(301文庫)	文芸総合演習Ⅱ(3年ゼミ)	表現メソッドⅢ(小説技法) 映画と文芸(映画学科合同) ライタース・セミナーⅢ(作家による講義) 文芸表現論Ⅹ(現代ミステリーの世界)								
2 年次	「文芸×社会」へ。書く・編集するを、社会で活かす。	文芸総合演習Ⅰ(2年ゼミ)	表現メソッドⅠ(小説技法) 創作ワークショップⅦⅢ(小説エキスパート) 創作ワークショップⅨ(ノンフィクションエキスパート)	文芸総合演習Ⅰ(2年ゼミ)	美術論Ⅱ(ファッション論) 出版編集論Ⅱ(インディペンデント・メディア) 出版編集論Ⅴ(出版メディア論)	文芸総合演習Ⅰ(2年ゼミ)	文芸表現論Ⅲ(映画理論入門) 出版編集論Ⅳ(Web編集とライティング) 出版編集論Ⅶ(校正・校閲入門)	文芸総合演習Ⅰ(2年ゼミ)	表現メソッドⅠ(小説技法) 創作ワークショップⅦⅢ(小説エキスパート) 出版編集論Ⅱ(インディペンデント・メディア)								
	前期には、全員が社会実装(社会と繋がる)科目を履修し、文芸で学ぶことを、どう自分の進路や社会に活かすかを考えます。	ブレゼミ 文芸総合研究	表現メソッドⅡ(小説技法) ライタース・セミナーⅡ(作家による講義) 文芸表現論Ⅴ(新人作家のキャリアデザイン論)	ブレゼミ 文芸総合研究	美術論Ⅰ(現代思想・哲学) ビジュアルメディアⅡ(絵本と創作) メディア演習Ⅲ(InDesignで読面デザイン)	ブレゼミ 文芸総合研究	ライタース・セミナーⅡ(作家による講義) 出版編集論Ⅵ(図書館司書入門) 文芸表現論Ⅵ(放送作家論)	ブレゼミ 文芸総合研究	表現メソッドⅡ(小説技法) ライタース・セミナーⅡ(作家による講義) 文芸表現論Ⅶ(小説言語・文化論)								
1 年次	とにかくたくさん読む、とにかくたくさん書く。	音楽と文芸Ⅱ プロフェッショナル特講Ⅱ 文芸表現論Ⅱ(ゲーム物語構造)	創作ワークショップⅣ(現代詩) 創作ワークショップⅤ(短歌・俳句) 創作ワークショップⅥ(短編小説) 創作ワークショップⅦ(戯曲・脚本)	音楽と文芸Ⅱ プロフェッショナル特講Ⅱ	編集ワークショップⅣ (Storyville企画・運営) 編集ワークショップⅥ(プロジェクト実習) メディア演習Ⅰ(DTPデザイン)	音楽と文芸Ⅱ プロフェッショナル特講Ⅱ	編集ワークショップⅣ (Storyville企画・運営) 編集ワークショップⅥ(プロジェクト実習) メディア演習Ⅰ(DTPデザイン)	音楽と文芸Ⅱ プロフェッショナル特講Ⅱ 文芸表現論Ⅱ(ゲーム物語構造)	創作ワークショップⅣ(現代詩) 創作ワークショップⅤ(短歌・俳句) 創作ワークショップⅥ(短編小説) 創作ワークショップⅦ(戯曲・脚本)								
	読むこと、書くことを徹底して学びます。どんな進路を進むにせよ、文芸表現学科の学生として求められる、日本語の基礎力を身につけます。	日本語基礎力・幅広く読む力 文芸表現基礎Ⅱ 百讀Ⅰ～Ⅵ	文芸表現論Ⅰ(誘惑のレトリック) 音楽と文芸Ⅰ プロフェッショナル特講Ⅰ ライタース・セミナーⅠ	創作ワークショップⅠ(小説・エッセイ) 創作ワークショップⅡ(エッセイ・小説) 編集ワークショップⅠ(ライター入門)	文芸表現論Ⅰ(誘惑のレトリック) 音楽と文芸Ⅰ プロフェッショナル特講Ⅰ 出版編集論Ⅰ(映像メディア論) ビジュアルメディア論Ⅰ(ブックデザイン入門)	文芸表現論Ⅰ(誘惑のレトリック) 音楽と文芸Ⅰ プロフェッショナル特講Ⅰ 出版編集論Ⅰ(映像メディア論)	文芸表現論Ⅰ(誘惑のレトリック) 音楽と文芸Ⅰ プロフェッショナル特講Ⅰ 出版編集論Ⅰ(映像メディア論)	文芸表現論Ⅰ(誘惑のレトリック) 音楽と文芸Ⅰ プロフェッショナル特講Ⅰ 出版編集論Ⅰ(映像メディア論)	文芸表現論Ⅰ(誘惑のレトリック) 音楽と文芸Ⅰ プロフェッショナル特講Ⅰ ライタース・セミナーⅠ								

就職活動
インターンシップ

11月
就活キックオフ
キャリア研究Ⅳ
(文芸インターン)

キャリア研究Ⅲ

+2年ゼミで
キャリアを考える

キャリア研究Ⅱ
+社会実装科目

キャリア研究Ⅰ

文芸表現論VIII	講義		2	3	4	後期	2	アート・文学を語るための20世紀哲学・思想	ソシュールの言語学に始まるおもにヨーロッパ20世紀の思想・哲学をたどり、これらがアート・文学とどのような関係にあったかを考える。	20世紀の思想・哲学を理解し、これらを駆使してアート・文学について語れるようになること。	50	100	30	60	0	20	40	0	0	0	0		
文芸表現論IX	講義		2	3	4	前期	2	日本文学入門	国内外を問わず現在書かれている詩作品の読解を踏まえ、詩の実作および合評を行う。	詩的言語に自覚的な意識をもち、自分自身の表現を模索する。	40	80	0	0	40	80	0	0	0	20	40	0	
文芸表現論X	講義		2	3	4	前期	2	現代ミステリーの世界を知る	現代のミステリー小説と映画から、作者がめぐるスキルとテクニックを解明する。	職人的視点で小説作品を捉え、その機能や構造を学ぶことにより、自身もミステリーを書くことができるようになる。	50	100	20	40	0	0	0	0	0	30	60	0	
表現メソッドI	講義		2	3	4	前期	2	プロットについて	物語の構築や、物語の描写といった、物語を書くために知る必要がある具体的な技法を系統的に学ぶ。	物語執筆におけるさまざまな手法と方法論を習得し、各自の創作に活かせるようになる。	40	80	30	60	0	30	60	0	0	0	0	0	
表現メソッドII	講義		2	3	4	後期	2	視点について			40	80	30	60	0	30	60	0	0	0	0		
表現メソッドIII	講義			3	4	後期	2	ストーリー作りにかかわる諸理論			40	80	30	60	0	30	60	0	0	0	0	0	
表現メソッドIV	講義			3	4	前期	2	ナラティブ(語り)について			40	80	30	60	0	30	60	0	0	0	0	0	
ライターのセミナーI	講義	1	2	3	4	前期	2	作家による特別講義	創作の第一線で活躍する講師の講義を踏まえて、創作の実作および合評を行う。	文芸表現の最前線で起こっていることを学び、それを活かして自分の創作・表現の幅を広げ、深さを増す。	20	40	0	0	40	80	40	80	0	0	0	0	
ライターのセミナーII	講義	1	2	3	4	前期	2	作家による特別講義	創作の第一線で活躍する講師の講義を踏まえて、創作の実作および合評を行う。	文芸表現の最前線で起こっていることを学び、それを活かして自分の創作・表現の幅を広げ、深さを増す。	20	40	0	0	40	80	40	80	0	0	0	0	
ライターのセミナーIII	講義	1	2	3	4	前期	2	作家による特別講義	創作の第一線で活躍する講師の講義を踏まえて、創作の実作および合評を行う。	文芸表現の最前線で起こっていることを学び、それを活かして自分の創作・表現の幅を広げ、深さを増す。	20	40	0	0	40	80	40	80	0	0	0	0	
ライターのセミナーIV	講義	1	2	3	4	前期	2	作家による特別講義	創作の第一線で活躍する講師の講義を踏まえて、創作の実作および合評を行う。	文芸表現の最前線で起こっていることを学び、それを活かして自分の創作・表現の幅を広げ、深さを増す。	20	40	0	0	40	80	40	80	0	0	0	0	
ライターのセミナーV	講義	1	2	3	4	前期	2	作家による特別講義	創作の第一線で活躍する講師の講義を踏まえて、創作の実作および合評を行う。	文芸表現の最前線で起こっていることを学び、それを活かして自分の創作・表現の幅を広げ、深さを増す。	20	40	0	0	40	80	40	80	0	0	0	0	
創作ワークショップI	演習	1				前期	◆	2	小説・エッセイを書く	まずは最小限の長さの「超短編」「エッセイ」を自由に書いてみることから始めて、小説およびエッセイ執筆や物語作りの実際等を着実に身につけていく。	自作を持ち寄った合評を軸とし、自分なりの創作に対する姿勢を他者と共有できる総合的な力を身につける。	0	0	30	60	30	60	40	80	0	0	0	0
創作ワークショップII	演習	1				前期	◆	2	小説・エッセイを書く	まずは最小限の長さの「超短編」「エッセイ」を自由に書いてみることから始めて、小説およびエッセイ執筆や物語作りの実際等を着実に身につけていく。	自作を持ち寄った合評を軸とし、自分なりの創作に対する姿勢を他者と共有できる総合的な力を身につける。	0	0	30	60	30	60	40	80	0	0	0	0
創作ワークショップIII	演習	1				前期	◆	2	原作・シナリオを書く	漫画、ドラマ、映画、舞台などの原作となるストーリーを発想・構想し、それを主にシナリオの形式で実作するとともに、作品についての講評や合評を行う。	小説以外の形式によるストーリー創作の基本を学習・体験することで、文芸の幅広い可能性と選択肢を視野に入れることができる。	0	0	30	60	30	60	40	80	0	0	0	0
創作ワークショップIV	演習		2	3	4	後期	◇	2	現代詩を書く	行数やキーワード等のしぼりを課したうえで、毎週、詩作品を書いて合評を行い、自分のことばを探り当てていく。	自分自身の詩のことばに自覚をもって表現を追求し、自作をプレゼンテーションしつつ他者の作品に的確な批評をできるようにする。	40	80	30	60	30	60	0	0	0	0	0	0
創作ワークショップV	演習		2	3	4	後期	◇	2	短歌・俳句を詠む	普段の何気ない生活の中で発見した物事を文章化し、一首の短歌を添えるなど、エッセイと短歌を組み合わせた鑑賞と創作を行い、合評する。	自分自身の短歌のことばに自覚をもって表現を追求し、自作をプレゼンテーションしつつ他者の作品に的確な批評をできるようにする。	40	80	30	60	30	60	0	0	0	0	0	0
創作ワークショップVI	演習		2	3	4	後期	◇	2	短編小説を書く	エンターテインメント性の高い各ジャンルのフィクションについて広く学び、実作を通して小説創作の基礎を実践的に学ぶ。	エンターテインメント小説の来歴と現在について理解を深め、企画立案から作品完成に至る実作プロセスを実践的に身につける。	40	80	30	60	30	60	0	0	0	0	0	0
創作ワークショップVII	演習		2	3	4	後期	◇	2	戯曲・シナリオを書く	映画やドラマなど、映像作品の設計図であるシナリオについて幅広く学び、発想(アイデア)を生み出して形にするまでの一連のプロセスを身につける。	映像表現の基礎知識を学んで、短編シナリオを完成させ、映像的な発想力を身につける。	40	80	30	60	30	60	0	0	0	0	0	0
創作ワークショップVIII	演習		2	3	4	前期	◇	2	エキスパートクラス(フィクション)	「自分自身のために楽しんで書く」段階から大きく進んで、自作を広く社会で作品を発表するために必要な力を、総合的に身につける。	作品執筆～完成にいたる一連のプロセスについてより深い認識を持ち、社会に発表できるレベルの作品をメッチまで必ず完成させるプロの姿勢を身につける。	0	0	30	60	30	60	40	80	0	0	0	0
創作ワークショップIX	演習		2	3	4	前期	◇	2	エキスパートクラス(ノンフィクション)	「自分自身のために楽しんで書く」段階から大きく進んで、自作を広く社会で作品を発表するために必要な力を、総合的に身につける。	作品執筆～完成にいたる一連のプロセスについてより深い認識を持ち、社会に発表できるレベルの作品をメッチまで必ず完成させるプロの姿勢を身につける。	0	0	30	60	30	60	40	80	0	0	0	0
出版編集論I	講義	1	2	3	4	前期	2	映像メディア論	NHKのドキュメンタリー番組を素材に、企画の立て方から制作に至るまで、その流れを知り、編集する視点を多角的に養う。	テレビの制作現場での「編集」を学び、ことばと映像の関係や可能性を知ること、学生個々の表現の幅を広げる。	30	60	0	0	40	80	0	0	0	0	30	60	
出版編集論II	講義		2	3	4	後期	2	インディペンデントメディア 歴史と現在	21世紀型の数々の発信を学びつつ、さまざまな媒体を効果的に使いこなす術を身につける。実際の制作も試みる。	自身の表現を効果的に伝えていくための知識と術を身につけ、実際に、個人で紙やオンデマンドの冊子制作と発信を行う。	0	0	0	0	40	80	30	60	30	60	0	0	
出版編集論III	講義		2	3	4	後期	2	月刊誌編集の現場と実践	紙の月刊誌を例に、編集の現場や編集者の仕事を知る。その上で、学生自身もその雑誌の誌面を企画し、実際に取材、記事制作などを行う。	教員が実際に編集を手がける雑誌を使って、企画立案に始まり、取材や撮影、原稿作成、デザイン、校正という雑誌作りのプロセスを学びながら、その雑誌に掲載する企画を作りあげる。	0	0	0	0	40	80	0	0	30	60	0	30	60
出版編集論IV	講義		2	3	4	後期	2	Web編集とライティング	Web編集者・ライターは、理論と同時に実践的な現場力を求められる。理論を学びつつ、企画やリサーチ、ライティング、プロモーションなどを実践していく。	Webのライティング、編集技術を身につけるとともに、編集者やライターのセルフプロモーション能力を向上させる。	0	0	0	0	30	60	40	80	30	60	0	0	
出版編集論V	講義		2	3	4	前期	2	出版メディア論——出版の世界を知る	出版社という組織や利益構造の説明だけでなく、この世界に関わる全てのアイテム、たとえば印税、著作権、流通、電子書籍などについて、過去・現在・未来の図面を広げつつ解説する。	小説家・ライター・編集者などを志す者が将来生きていくことになる出版界の基本構造と実態、また「しきたり」について知り、このフィールドで生きていくための条件を理解できるようにする。	40	80	30	60	0	0	0	0	0	30	60	0	
出版編集論VI	講義		2	3	4	前期	2	図書館司書入門	図書館とはどのような場であって、図書館司書とはどのような仕事なのか、図書館の歴史・社会的意義から読みおこし、今のナビゲーターとしての図書館司書の役割を考える。	図書館のしくみ・意義を理解し、図書館司書を目指すにあたって必要な基礎知識を身につける。	50	100	30	60	0	0	0	0	20	40	0	0	
出版編集論VII	講義		2	3	4	後期	2	校正・校閲入門	出版のプロセスにおいて校正・校閲が果たしている役割を理解し、その実践を演習をとおして学ぶ。	校正・校閲の意義を理解し、今後本格的に校正者・校閲者を目指すために必要な知識を身につける。	50	100	30	60	0	0	0	0	20	40	0	0	
ビジュアルメディア論I	講義	1	2	3	4	後期	2	ブックデザイン入門	西洋・東洋の書物史にみる「本」の意義とカタチから、編集デザインに必要なタイポグラフィや組版、それらと不可分である書物の構造・素材・紙・印刷・製本などの基本知識までを習得する。	「作品の容器物としての書物」を書き手の立場から発想し、実現する力をつける。	0	0	30	60	40	80	30	60	0	0	0	0	0
ビジュアルメディア論II	講義		2	3	4	前期	2	絵本の最前線と創作	さまざまな絵本を例にとりながら、絵本が生まれる過程を学び、現代絵本の最前線を知る。	「絵本」というジャンルと「絵本編集」を知ることで、表現や「編集」についての幅を広げ、深める。ことばと絵の関係を知り、絵本制作の基礎を身につける。	0	0	0	0	40	80	30	60	0	0	30	60	
ビジュアルメディア論III	講義		2	3	4	前期	2	雑誌文化論	雑誌という出版物は、その時代の「生きた」情報を堆積させ、文化の基底をかたちづくるメディアである。時代の情報を発信する雑誌出版と編集の様相を具体例を挙げながら考察する。	雑誌と文化、時代との関係性を理解し、新たな雑誌を企画し、創造する力を身につける。	30	60	0	0	40	80	30	60	0	0	0	0	
ビジュアルメディア論IV	講義		2	3	4	前期	2	写真集の歴史と現在	写真集のメディア特性を検証し、写真集の編集について考察を進める。	ことばと密接にかかわる写真というメディアを知ること、表現することの可能性を広げ、自身の制作につなげる。冊子における写真の初歩的な扱いができる。	30	60	30	60	40	80	0	0	0	0	0	0	0

ビジュアルメディア論V	講義		2	3	4	前期		2	製本ワークショップ	現在流通している書籍の構造を知り、学生作品展に展示する本の製本を試みる。	自分の書いた作品(文章)がどのようなプロセスを経て本というかたちになるのか、実際に製本し体感することで、造本についての知識を深め、簡単な製本ができる。				30	60	40	80				0	30	60	0				
編集ワークショップI	演習	1				前期	◆	2	ライター入門	アートや演劇などの観覧や社会人へのインタビューを通して、Webや紙メディアに掲載されるレビュー等の記事執筆を体験する。	メディアで発信するための初歩的な力を身につけ、簡単な記事を書けるようになる。				0	30	60	40	80				0	30	60				
編集ワークショップII	演習		2	3	4	前期	◇	2	編集ワークショップ	学内外にかかわるテーマを提示し、それにふさわしいアウトプットを考察し、かたちにする。	提示されたテーマを柔軟に解釈し、他者と協力しながら発展的に実現する力を養う。				0	30	60	40	80				0	30	60				
編集ワークショップIII	演習		2	3	4	前期	◇	2	Storyville 企画・運営1	学外の企業と連携し、そのニーズにもとづいた取材および記事の執筆を行い、その成果をWebなどをとおして発信する。	現実のニーズにもとづいた取材、記事執筆をつうじて、自分自身の取材・記事執筆スキルを実用レベルにまで引き上げる。				0	30	60	40	80				0	30	60				
編集ワークショップIV	演習		2	3	4	前期	◇	2	プロジェクト実習1	編集・原稿執筆といった文芸的スキルは、いかんして社会的な問題の解決に寄与するのか、具体的な問題にあたることによって学ぶ。	社会的・現実的な問題に対して、文芸的なアプローチを用い、企画・提案・解決ができるスキルを身につける。				0	30	60	40	80				0	30	60				
編集ワークショップV	演習		2	3	4	後期	◇	2	Storyville 企画・運営2	企画立案、各種手配、広報、実施、記録にわたり、学科イベント「Storyville」の運営を行う。	現実のイベントの運営を通じ、社会的スキルを身につけると同時に、文芸と社会との関連を具体的なかつ大局的に考えることができるようになる。				0	30	60	40	80				0	30	60				
編集ワークショップVI	演習		2	3	4	後期	◇	2	プロジェクト実習2	編集・原稿執筆といった文芸的スキルは、いかんして社会的な問題の解決に寄与するのか、具体的な問題にあたることによって学ぶ。	社会的・現実的な問題に対して、文芸的なアプローチを用い、企画・提案・解決ができるスキルを身につける。				0	30	60	40	80				0	30	60				
文芸総合研究	講義		2			前期		2	2年プレゼミ	2年次後期より本格的に始まるゼミに向けて、各自ゼミを一つ選び所属し創作・制作を行い、自分自身のテーマを模索する。	創作や批評、編集などを実際に行うことによってその力を身につけ、自身のテーマを発見する。	30	60	40	80	30	60							0	0	0			
文芸総合演習I	演習		2			後期		2	2年ゼミ	自身のテーマにふさわしいゼミに所属し、学生作品展に向けてそのテーマを追究するとともに、各ゼミごとの活動にも参加する。	各自が自分のテーマについて知見、考察を深め、またそれにふさわしい表現形式を与えることができる。さらにそれを社会に向かって公表・発信することができる。		0	30	60	30	60	40	80					0	0	0			
文芸総合演習II	演習			3		前期		2	3年ゼミ1	自身のテーマにふさわしいゼミに所属し、学生作品展に向けてそのテーマを追究するとともに、各ゼミごとの活動にも参加する。	各自が自分のテーマについて知見、考察を深め、またそれにふさわしい表現形式を与えることができる。さらにそれを社会に向かって公表・発信することができる。		0	30	60	30	60	40	80					0	0	0			
文芸総合演習III	演習			3		後期		2	3年ゼミ2	これまで自分が追究してきたテーマをさらに発展させて、卒業制作に向けて創作・制作を行う。	各自が自分のテーマについて知見、考察を深め、またそれにふさわしい表現形式を与えることができる。さらにそれを社会に向かって公表・発信することができる。		0	30	60	30	60	40	80					0	0	0			
文芸総合演習IV	演習			4		前期		2	4年ゼミ	これまで自分が追究してきたテーマをさらに発展させて、卒業制作に向けて創作・制作を行う。	各自が自分のテーマについて知見、考察を深め、またそれにふさわしい表現形式を与えることができる。さらにそれを社会に向かって公表・発信することができる。		0	30	60	30	60	40	80					0	0	0			
メディア演習I	演習	1	2	3	4	後期		2	IllustratorとPhotoshop 平面デザイン実践	DTPにおけるデザインから印刷までの工程をAdobe Illustrator、Photoshopで実践しながら学ぶ。	必然的な視覚操作性と、それを体現する技術を獲得できる。				0	40	80	30	60					0	30	60			
メディア演習II	演習	1	2	3	4	前期		2	文芸で学ぶためのPC基礎	大学での学習やプロジェクトに必要な文書作成能力の基礎を築くことを目標とし、論文やレポート、学内発表用資料などの作成を念頭に、Word・Excel・PowerPointの基礎的な使い方を習得する。	各種ソフトの基礎的な使い方理解し、「情報がきちんと伝わる文書」が作成できるようになる。文芸表現学科で4年間学ぶために必要な情報リテラシーを身につけることができる。				0	0	0	40	80	30	60	30	60	0	0	0			
メディア演習III	演習	1	2	3	4	前期		2	InDesign ブックデザイン実践	Adobe InDesignを使ったブックデザイン、あるいは書籍や冊子のページ編集能力の基礎を養う。	必然的な視覚操作性と、それを体現する技術を獲得できる。				0	40	80	30	60					0	30	60			
メディア演習IV	演習	1	2	3	4	後期		2	WEBプロモーション実践	WEBサイトを企画立案し、Word Press等を活用して、実際に運営を行う。	コンテンツとしてのWEBサイトを企画し、プロモーションする力を身につける。				0	40	80	30	60					0	30	60			
出版スタジオI	演習		2	3	4	前期		2	301文庫1	学科が301文庫(仮称)について、刊行作品の選定、企画、編集・広報に到るまでの運営を実践する。	出版(パブリケーション)という行為の実践をとおして、その社会的意義を理解し、文芸と社会をつなぐことの意味を考える。				0	30	60	40	80					0	40	80			
出版スタジオII	演習		2	3	4	後期		2	301文庫2	学科が301文庫(仮称)について、刊行作品の選定、企画、編集・広報に到るまでの運営を実践する。	出版(パブリケーション)という行為の実践をとおして、その社会的意義を理解し、文芸と社会をつなぐことの意味を考える。				0	30	60	40	80					0	40	80			
卒業研究・制作	演習			4		後期		4	ポストゼミ(リライト・卒業展)	ゼミで書きあげた卒業制作の草稿を、本提出に向けてリライトする。またこれをもとに卒業展、Books制作へとつなげる。	4年間の学習の集大成である卒業制作を完成し、それを公表・発信することを通じ、文芸表現者としての自身の枠割を認識する。				0	30	120	50	200						0	20	80		
キャリア研究I	講義	1				後期		2	文芸キャリア入門	文芸表現を学ぶことが将来どんなキャリアにつながるのか? 文芸直結型の職業のみならず、応用型も含めた幅広い職業知識を得て、視野を広げる。	文芸表現に関する多種多様なキャリアについての知識を得て、将来の可能性について広い視野で考えることができる。	40	80	30	60										0	30	60		
キャリア研究II	講義		2			前期		2	文芸キャリア研究(プロフェッショナル)	文芸表現にかかわる多種多様な職業のモデルケースについて、それぞれの職業人へのインタビューなどを通して、より深く研究・考察し、その結果を成果物としてまとめることで、より具体的な将来のビジョンを獲得する。	職業人へのインタビュー等をつうじて社会を深く理解し、さらに自身のキャリアについての具体的なビジョンをまとめることができる。	30	60	0	0	30	60									0	40	80	
キャリア研究III	講義			3		前期		2	文芸キャリア研究(自己分析とES対策)	自分の特性や志向、学生活動等を分析(自己分析)して、これまで研究してきた多様なキャリアの中から、自分との接点を見つける。さらに、そうやってマッチングさせた職業や企業等をより深く研究し、エントリーシートを作成する。	企業・職業研究の成果と自己分析をマッチングさせ、それを十分に活用した魅力的なエントリーシート等を作成することができる。	30	60	30	60	0	40	80									0	0	0
キャリア研究IV	講義			3		後期		2	文芸インターンシップ	各種企業でのインターンシップや、それに準ずる職業体験(ライター見習いなど)に取り組み、これまでの研究・考察を、より実践的な体験に発展させる。	仕事や社会の在り様について理解するとともに、自らの進路を具体的に考えることができる。				0	0	0	40	80	30	60	30	60						

合計 14 152 ◆より2単位以上、◇より4単位以上選択必修

ポイント計	3680	3660	3240	2700	880	960	1480
比率	22.2%	22.0%	19.5%	16.3%	5.3%	5.8%	8.9%